



石巻西高実況中継

～学校の情報や生徒の様子をリアルタイムで家庭に届けます～

平成30年1月9日 第65号

発行者：校長 伊藤 俊

～新年全校集会校長講話～ 「やり直し」～ 校長 伊藤 俊



2018年が始まりました。あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。昨年も多くのニュースがありました。角界の横綱日馬富士の事件は衝撃的でした。酒の席での出来事とはいえ、一瞬のあの出来事が原因で、今まで長年努力して築きあげてきた横綱の名誉や地位を失ってしまいました。傷害事件という重い事案であり、人間として許されるべきことでありませんが、むなしさも感じました。横綱は30歳代、普通の人的人生としてはまだまだこれからの時期です。しかし、今後本人が努力をしても取り返しがつかない、やり直しがきかない事態になったと言えます。

12月の修学旅行出発直前、2学年の結団式に参加しました。2年生の学年集会の様子を見るのは4月以来久しぶりでした。学年主任の話に熱心に聞き入る態度は4月の集会の様子とは全く違い、驚くほどの成長ぶりでした。「わずか数カ月でこれほど大人になるのか」とうれしくなりました。毎日接している担任や君達自身は気がつかないかもしれませんが、一目瞭然でした。

高校生の変容のスピードは大人が想像しているよりずっと早く、変容の大きさも想像を超えることを実感しました。子どもが様々なことを吸収して変化することを「可塑」という表現を用いることができます。高校生でも大人に較べればまだまだ「可塑性が高い」と言えます。

高校生は何か間違っても、人生のやり直しがきかなくなることはまれだと思います。その時のことをしっかりと胸に刻み込み、再び繰り返さないようにしたり、エネルギーに変えていけば良いと思います。大きく変わることができる可塑性を持っているからやり直しができるのです。

例えば進路について。高校卒業後、いったん就職しても、医療に対する興味を諦めきれず大学に入り直し、介護士になって活躍している人など、やり直しをしている人々をたくさん見てきています。その時は、人生の大きな転機として大いに悩むはずですが、後に振り返って長い人生から見れば、数年の遅れは微々たるものであることに気が付くはずですが。

一番よくないのは、失敗を恐れてこのままでいいやと諦めてしまうことです。君たちは、柔軟で大きく変わる可能性があります。まだまだやり直しがきくのです。失敗しても大丈夫！

年齢が上がるにつれて、大人になるにつれて一瞬の失敗で取り返しがつかない、やり直しがきかないことが増えていきます。君たちはまだまだ大丈夫。チャレンジしてください。

～冬休み～ 西高生の様子～



【12月22日（金）鈴木先輩との交流】

20日（水）に一日署長として来校してくれた鈴木遼太郎先輩が、22日（金）全校集会終了後、後輩達のために時間を作り、西高生と交流してくれました。後輩達からの質問に誠実に答え、「夢」を持つことの大切さを伝えてくれました。軽い投球も披露してくれ、応援団長野球部の三浦正太さんが鈴木先輩にエールを送りました。最後に全校生徒で記念写真撮影、冬休み最高のスタートでした。



【陸上部が選手宣誓】



【男子スパイダーマン】



【女子雑巾がけと仰向け四足歩行】

【12月25日（月）ハッピータイムカップ】 震災復興の意味合いを持つ運動部対抗リレー（通称ハッピータイムカップ）も今年で5年目。グラウンドでのリレーではなく、針生先生の発案で講堂でのウェイトレーニングリレー形式（スパイダーマン・手押し車・アヒル・おんぶ・仰向け四足歩行・雑巾がけ）という工夫を凝らしました。講堂内は汗と熱気で一杯でした。部活ができて幸せですね。